## 主の祈り　(93-5A)

天にまします　われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり　　アーメン

## 石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は，主なる神と出会うイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し，この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は，希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。






# 日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854　石巻市大街道北２丁目１２－３
電話／FAX：0225-22-4090
ホームページ：http://tohoku.uccj.jp/i-eikou
メール：i-eikou@tohoku.uccj.jp
振替口座：02280-8-2810
教会創立：1887年9月25日

## 集会案内

| | | |
|---|---|---|
| 聖日礼拝 | 毎週日曜日 | 午前10：30 |
| 早朝礼拝 | 毎週日曜日 | 午前 7：30 |
| 交わりの会 | 毎週日曜日 | 礼拝後 |
| み言葉と祈りの会 | 毎週水曜日 | 午後 7：30 |

2026年度標語　『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2548

# 礼拝順序

2026年11月15日

| | |
|---|---|
| 受付<br>司会<br>献金<br>奏楽 | 礼拝当番は<br>礼拝堂に集まった人の中で<br>可能な方に担当いただきます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 前奏 | | |
| 招きの言葉 | ［2］詩編第29編2節 | 司会者 |
| 讃美歌 | 32 | 一同 |
| | 子どもたちへのお話 あるいは 悔い改めの黙祷 | |
| 讃美歌 | ５５（3節） | 一同 |
| 聖書 | 第二コリント５章10節 | |
| | （新共同訳聖書の新約聖書３３０ページ・または下記を参照） | |
| 祈り | | 司会者 |
| 讃美歌 | ４５１（1～2節） | 一同 |
| お話 | 「私たちは皆、全てが明らかに」 | |
| | 石巻栄光教会 川上直哉 牧師 | |
| 讃美歌 | ４５１（3～5節） | 一同 |
| 献金 | | 一同 |
| 報告 | | 司会者 |
| 讃美歌 | ９０（2節） | 一同 |
| 祝福の祈り | | |
| 後奏 | | |

＊当教会では 着席のまま礼拝を守っています。
＊旧約聖書は前半（P.1502まで）、新約聖書はその後ろです。
＊献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。

∞○∞○∞○∞○∞ 本日の聖書 ∞○∞○∞○∞○∞

**わたしたちは皆、キリストのさばきの座に出て
すべてが明らかにされなければならない。**
**（日本聖書協会共同訳）**

## ∞∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞∞

☆ 「役員会」 11月15日（日）11:40頃～ 礼拝堂にて
☆ 「御言葉と祈りの時」 11月18日（水）19:30～ オンライン配信
☆ 「荊冠の神学」読書会と聖餐式 11月21日（土）10:30～ エマオにて・読書会のみオンライン併用

## ∞∞∞ 次週の予告（11/22）∞∞∞

☆ 主日礼拝（お話：川上直哉 牧師）

| | |
|---|---|
| ［聖書］ | ルカ伝12章35節 |
| ［お話］ | 「腰に帯を 部屋に明かりを」 |
| ［讃美歌］ | 24 57 511 90 ［招きの言葉］ 17 |
| 受付<br>奏楽 | 礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で<br>可能な方に担当いただきます。 |

## ∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞

**✤今後の予定は以下の通りです**

**・11月29日（日）アドベント開始**

**・12月24日（木）日没から クリスマス**

**・1月1日（金）新年合同礼拝（青葉荘教会にて・説教者は小西望先生）**

**・1月6日(木) エピファニー（公現祭）**

**・1月17日（日）宮城中地区との講壇交換**

《 先週の集会統計 》

| | | | |
|---|---|---|---|
| 聖日礼拝 | 11人 | み言葉と祈りの会 | － |
| 早朝礼拝 | 2人 | 聖餐式 | － |

| 月定献金 | | 特別献金 |
|---|---|---|
| | | |
| 席上献金 | ¥13,000 | |

# 週報別冊

2026年11月8日号

## 1．教会宛に、以下の通信が届いています。

### 【日本基督教団・東北教区関係】

- **「みんなで生きよう」（日本基督教団教育委員会）**：教会学校用の「クリスマス献金」の、昨年の報告と今年の案内をいただきました。
- **「五橋クリスマス」「東北学院クリスマス」（学校法人東北学院）**：12月に行われる二つの催事の連絡をいただきました。
- **「角笛」（日本基督教団仙台北三番丁教会）**：川上牧師の寄稿「北三教会思い出」等が掲載されている、教会報100周年記念号をいただきました。

### 【その他団体・教会関係】

- **「光の子」（社会福祉法人光の子供の家）**：埼玉で４０年以上の歴史を持つキリスト教児童養護施設から、その創設時を振り返る特集「始発～暗闇に光を探して」等が掲載されています。
- **「YMCA NEWS」（盛岡YMCA）**：川上灯さんも参加した「ワイズメンズクラブ国際協会北東部フォーラム」の報告等が掲載されています。

## 2．牧師動静

１１月９日（月）～１３日（金）

韓国からのカトリック巡礼団３０名をお連れして、東北キリシタンツアーをしていました。

１１月１４日（土）

お昼前から、ワイズメンズクラブ国際協会アジア太平洋地域の役員会にオンラインで出席し、午後、名取市の熊野那智神社で会議をしました。

- 先週、無事に、川上牧師は30名のソウルのカトリック教会の方々を殉教地と津波被災地にお連れできました。今週、仙台YMCA理事として、韓国・楊州YMCAを訪問します。「竹島/独島」問題で途切れてしまった仙台YMCAの国際交流を再開させる旅で、昨年は韓国側からの訪問を受けました。川上牧師が受け入れ企画担当者となり、小杉成振さんのお力をいただいて、石巻博物館発行の布施辰治資料の韓国語訳を作成し、楊州のみなさまを石巻にお連れしたのが、去年でした。その際、在日大韓YMCAの総主事も帯同されました。この機会を用いて、在日大韓YMCAが故あって所持していた「布施辰治 大韓民国建国勲章」を、石巻博物館に移す、ということを話し合うためでした。そして無事、今年９月に布施辰治ご遺族によって石巻市蛇田でその贈呈式が行われるという運びになりました。今週は、その報告をする旅となります。このひと月は、出張続き、です。それは神様の祝福を数える日々です。あと少しで、この「出張続き」も終わります。神様の守りを求めています。ご加祷下さいましたら、本当に幸いです。
- 日本基督教団石巻栄光教会主任担任教師招聘委員会からの「申入書」を受けて、川上牧師からの「応答書」が作成され、大林委員長に送付されました。委員長からの許可を得て、別紙に印刷しました。また、この１２年を振り返るエッセー「北三教会の思い出」も、裏面に転載しました。併せて、どうぞ、ご高覧下さい。

１１月１６日（月）～１８日（水）

公益財団法人仙台YMCAの理事として、韓国の楊州YMCAを訪問しています。

１１月１９日（木）

午前中に仙台空港に戻り、午後、福島県キリスト教連絡会放射能問題学習会のオンライン学習会に参加し、夜、日本基督改革派教会夜間聖書塾のオンライン学習会で講義を担当します。

１１月２０日（金）

朝から宮城刑務所で教誨活動をし、昼間に仙台YMCA・YWCA合同祈祷会に出席し、午後、宮城刑務所で教誨活動をします。

１１月２１日（土）

午前中、「荊冠の神学」読書会と聖餐式をエマオで行い、午後、仙台青葉城クラブの会議に出席します。

**※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。上記日程を調整して、お会いしたく存じます。**

# 北三教会の思い出

日本基督教団石巻栄光教会主任担任教師　川上直哉

私は、2015 年 4 月から 2018 年 3 月まで、日本基督教団仙台北三番丁教会の担任教師をさせて頂きました。その経験は、私の「教会生活」を、決定的に変えたものとなりました。少し大げさですが、そう思って、感謝を記します。

私は牧師の子どもでした。「母の胎にいた時から」教会にいた、ということになります。小学校の頃、聖書を何度か通読していたそうです（父が言っていました）。中学校の頃には「神学者になりたい」と志していました。ただ「牧師になりたい」とは考えなかったのです。私にとって、教会は「楽しいところ」ではなかった。2017 年の頃だったと思います。当時の北三の役員のお一人と、お酒を飲みに行ったことがあります。その時、「私は、牧師には向いていない」とはっきり申し上げたことを、よく覚えています。そんな私が、それでも、「教会は、楽しい」と思うようになったのは、北三の副牧師時代でした。それは、自分の中の大きな変化でした。

子どもの頃の夢がかない、私は「神学者」になりました。大学で教え、神学博士号を取得し、そして、震災の現場に立つことになりました。教会も一つ任せていただきました。一つひとつ、得難い経験でした。でも、やはり、私の力不足、あるいは、神さまの不思議な導きでしょうか。どんなに業績を積んでも、大学では非常勤講師以上にはなれませんでした。任されていた教会は、離任しなければならなくなりました。原発事故の影響で、家族は遠く沖縄に避難していました（子どもたちにひどい鼻血が続いたのです）。そして「3.11」の現場での仕事は、肉体的に危機を感じるほど、多忙を極めていました。

無任所教師となっていた私に、三人の牧師が声をかけて下さいました。江連實先生と、保科隆先生と小西望先生でした。江連先生は私を北三教会の副牧師に招いてくださいました。そしてその立場で、私は日本基督教団原町教会と日本基督教団石巻栄光教会の礼拝を毎月一度、担当することになりました。津波被災地と原発被災地にある教会です。私は、毎週日曜日、北三教会の早朝礼拝に出席し、そこから北へ・南へ出立しました。祈祷会も、会堂建築委員会も、主任担任教師招聘委員会にも、参加させていただきました。「3.11」がご縁で出会った写真家の桃井和馬さんや僧侶の金田諦應さんを講師にお呼びして集会を企画できたことは、とりわけ楽しい思い出でした。ハーモニカの練習も（ほとんど参加できなかったのですが）嬉しい時でした。

たった三年、なのです。でも、その 1000 日くらいの日々で、「教会は楽しい」ということを、たぶん初めて、私は知りました。そして、石巻栄光教会から牧師としての招聘を頂き、今に至ります。「自分は向いていない」と、今も思います。「でも、楽しいので、なんとかやれる」と、今は思います。北三教会のみなさまの御厚誼の賜物・神さまの大きなプレゼントでした。

以上、神さまに、ただただ、感謝を覚える私の思い出を記しました。

（了）

2026 年 11 月 14 日

日本基督教団石巻栄光教会
主任担任教師招聘委員会
委員長　大林健太郎　様

日本基督教団正教師
川上直哉

# 応答書

2026 年 9 月 20 日付にて、貴委員会より、「申入書」を賜りました。ここに、その応答書を作成し、送付いたします。略式でのご無礼、どうぞお許しください。

1.

貴委員会より賜りました「任期更新」の申入を、確かに拝読しました。これを受けまして、私・川上直哉は、日本基督教団正教師として、

**2028 年度～2032 年度**
**（各年度は 4 月開始・3 月終了）**

の期間、日本基督教団主任担任教師を務める信託をお受けしたく存じます。

2.

信託を受領するにあたり、拙稿「牧会所信」（2017 年 12 月 14 日付）にありますとおり、日本基督教団石巻栄光教会における

**「持続可能性」の確保**
**「地域への牧会」の展開**

の 2 点を、今回賜りました「申入書」記載のご要請を踏まえつつ、改めて模索したく願います。

欠けたる器に、主イエス・キリストの身体をお預かりする大役は、到底、担いきれるものではないことを自覚しています。どうぞ、天来の佑けが豊かに溢れますように、ご加祷を賜りますよう、お願いを申し上げます。

（了）